

ダイワ・オーストラリア 高配当株α（毎月分配型）

株式αコース

通貨αコース

株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第72期（決算日 2019年2月18日）

第73期（決算日 2019年3月18日）

第74期（決算日 2019年4月17日）

第75期（決算日 2019年5月17日）

第76期（決算日 2019年6月17日）

第77期（決算日 2019年7月17日）

（作成対象期間 2019年1月18日～2019年7月17日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年1月23日～2023年1月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>

<5748>

<5749>

株式αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
48期末(2017年2月17日)	7,197	90	2.5	11,342	3.6	0.0	99.5	349
49期末(2017年3月17日)	7,110	90	0.0	11,262	△0.7	0.0	98.3	329
50期末(2017年4月17日)	6,846	90	△2.4	10,820	△3.9	0.0	98.4	313
51期末(2017年5月17日)	6,857	90	1.5	10,923	0.9	0.0	98.3	303
52期末(2017年6月19日)	6,744	90	△0.3	10,917	△0.1	0.0	98.4	296
53期末(2017年7月18日)	6,908	90	3.8	11,261	3.2	-	98.4	353
54期末(2017年8月17日)	6,838	90	0.3	11,278	0.1	-	98.4	379
55期末(2017年9月19日)	6,843	90	1.4	11,368	0.8	-	98.4	373
56期末(2017年10月17日)	6,777	90	0.4	11,501	1.2	-	98.3	358
57期末(2017年11月17日)	6,623	90	△0.9	11,389	△1.0	-	99.4	360
58期末(2017年12月18日)	6,629	90	1.4	11,549	1.4	-	98.3	365
59期末(2018年1月17日)	6,585	90	0.7	11,924	3.2	-	99.4	364
60期末(2018年2月19日)	6,013	90	△7.3	11,118	△6.8	-	98.3	329
61期末(2018年3月19日)	5,888	90	△0.6	10,873	△2.2	-	98.6	319
62期末(2018年4月17日)	5,757	90	△0.7	10,881	0.1	-	98.4	325
63期末(2018年5月17日)	5,687	90	0.3	11,325	4.1	-	98.3	324
64期末(2018年6月18日)	5,559	90	△0.7	11,196	△1.1	-	97.3	325
65期末(2018年7月17日)	5,570	90	1.8	11,626	3.8	-	98.6	319
66期末(2018年8月17日)	5,367	90	△2.0	11,386	△2.1	-	98.5	302
67期末(2018年9月18日)	5,223	90	△1.0	11,072	△2.8	-	95.5	333
68期末(2018年10月17日)	4,914	60	△4.8	10,530	△4.9	-	98.4	311
69期末(2018年11月19日)	4,912	60	1.2	10,566	0.3	-	98.4	309
70期末(2018年12月17日)	4,698	60	△3.1	10,186	△3.6	-	99.0	280
71期末(2019年1月17日)	4,558	60	△1.7	10,186	0.0	-	98.8	271
72期末(2019年2月18日)	4,614	60	2.5	10,714	5.2	-	95.4	260
73期末(2019年3月18日)	4,654	60	2.2	10,913	1.9	-	98.4	261
74期末(2019年4月17日)	4,720	60	2.7	11,269	3.3	-	98.4	262
75期末(2019年5月17日)	4,437	60	△4.7	10,714	△4.9	-	98.4	246
76期末(2019年6月17日)	4,366	60	△0.2	10,946	2.2	-	98.4	243
77期末(2019年7月17日)	4,407	60	2.3	11,281	3.1	-	98.4	244

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

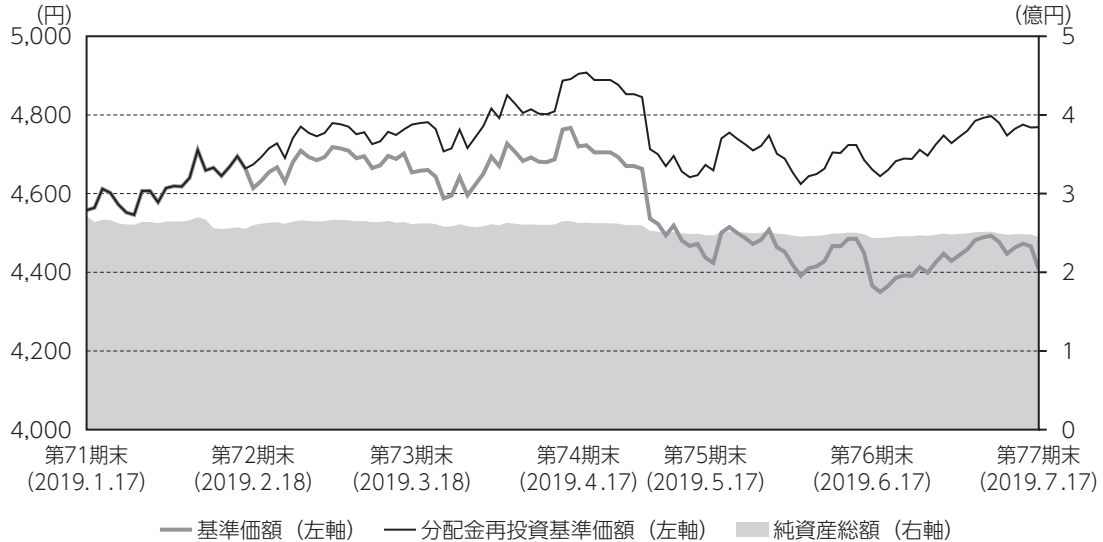
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第72期首：4,558円

第77期末：4,407円（既払分配金360円）

騰落率：4.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことがプラスに働き、上昇しました。株式オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第72期	(期首)2019年1月17日	4,558	—	10,186	—	—	98.8
	1月末	4,614	1.2	10,388	2.0	—	98.9
	(期末)2019年2月18日	4,674	2.5	10,714	5.2	—	95.4
第73期	(期首)2019年2月18日	4,614	—	10,714	—	—	95.4
	2月末	4,685	1.5	10,905	1.8	—	98.3
	(期末)2019年3月18日	4,714	2.2	10,913	1.9	—	98.4
第74期	(期首)2019年3月18日	4,654	—	10,913	—	—	98.4
	3月末	4,623	△0.7	10,854	△0.5	—	99.3
	(期末)2019年4月17日	4,780	2.7	11,269	3.3	—	98.4
第75期	(期首)2019年4月17日	4,720	—	11,269	—	—	98.4
	4月末	4,670	△1.1	11,184	△0.8	—	98.3
	(期末)2019年5月17日	4,497	△4.7	10,714	△4.9	—	98.4
第76期	(期首)2019年5月17日	4,437	—	10,714	—	—	98.4
	5月末	4,452	0.3	10,788	0.7	—	98.2
	(期末)2019年6月17日	4,426	△0.2	10,946	2.2	—	98.4
第77期	(期首)2019年6月17日	4,366	—	10,946	—	—	98.4
	6月末	4,447	1.9	11,246	2.7	—	98.2
	(期末)2019年7月17日	4,467	2.3	11,281	3.1	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.1.18~2019.7.17)

■ オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首より方向感のない動きで始まりましたが、2019年2月に入り、オーストラリア国内での金融機関の規制に対する独立調査委員会の報告が無難な結果に終わったことから安心感が広がり、上昇しました。4月以降も、中国や米国などで製造業関連のマクロ経済指標が市場予想を上回ったことなどを背景に、上昇を続けました。5月前半に、米中貿易摩擦再燃への警戒感が強まり株式市場が軟調に推移する局面もありましたが、5月後半には、オーストラリア総選挙において与党が勝利したほか、6月にはRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き下げを実施したことなどから、上げ幅を広げました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月中旬にかけては、株式市場が堅調に推移するなど投資家のリスク選好が回復し、おおむね円安豪ドル高基調で推移しました。4月下旬から6月上旬にかけては、米中間の政治的緊張の高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、RBA（オーストラリア準備銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから、円高豪ドル安が進みました。当作成期末にかけては、米中通商協議進展への期待感などから投資家のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは対円で値を戻す展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.1.18~2019.7.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

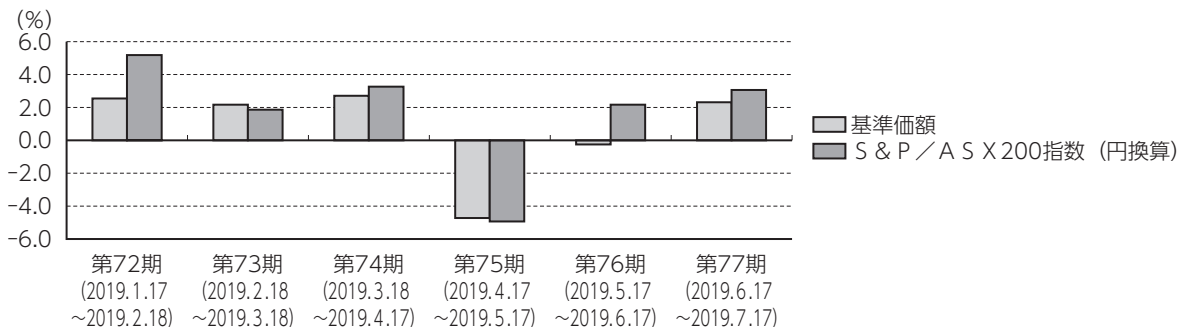
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2019年1月18日 ～2019年2月18日	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月17日	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日	2019年6月18日 ～2019年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	1.28	1.27	1.26	1.33	1.36	1.34
当期の収益（円）	49	51	52	48	45	48
当期の収益以外（円）	10	8	7	11	14	11
翌期繰越分配対象額（円）	565	556	549	537	523	511

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 49.50円	✓ 51.39円	✓ 52.25円	✓ 48.46円	✓ 45.92円	✓ 48.55円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 575.84	✓ 565.34	✓ 556.75	✓ 549.01	✓ 537.48	✓ 523.41
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	625.34	616.74	609.01	597.47	583.41	571.97
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	565.34	556.74	549.01	537.47	523.41	511.97

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2019.1.18～2019.7.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.656%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,576円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.213)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.427)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	30	0.659	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

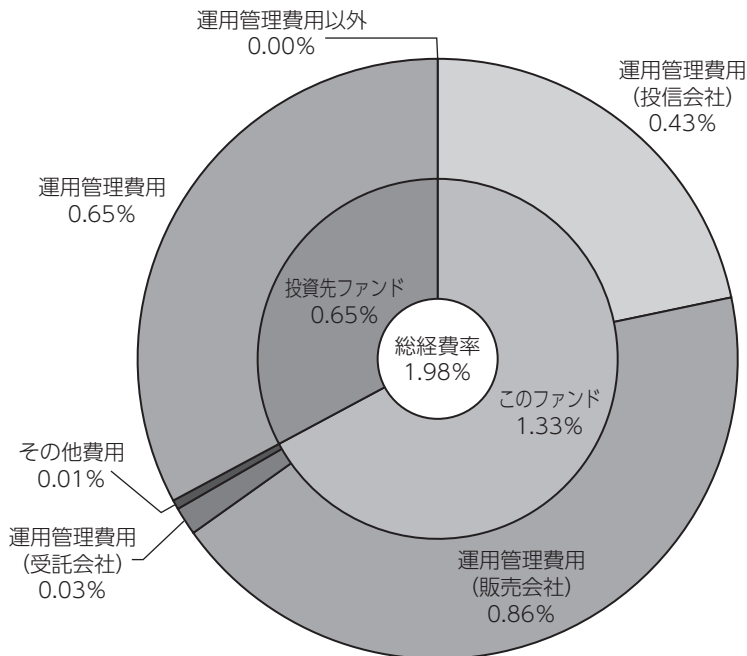
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率 (①+②+③)	1.98%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

決算期	第 72 期 ～ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	533.47024	25,800	1,013.19054	48,852

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

第 72 期				～	第 77 期			
買 付					売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価		銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	162.724	8,000	49		AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	1,013.19054	48,852	48

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

区 分	第 72 期			第 77 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	8,322,217	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	119,999	-	-	119,999	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	千口 5,107.88533	千円 240,765	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年7月17日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 240,765	% 96.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	8,166	3.3
投資信託財産総額	249,031	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 77 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 98	千円 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年2月18日)、(2019年3月18日)、(2019年4月17日)、(2019年5月17日)、(2019年6月17日)、(2019年7月17日)現在

項 目	第 72 期 末	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末	第 77 期 末
(A) 資産	264,187,392円	266,625,622円	266,198,451円	250,635,181円	247,407,799円	249,031,272円
コール・ローン等	16,004,771	9,516,804	7,800,921	7,371,131	7,450,958	8,166,059
投資信託受益証券(評価額)	248,082,661	257,008,867	258,297,579	243,164,109	239,856,900	240,765,282
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,960	99,951	99,951	99,941	99,941	99,931
(B) 負債	4,156,384	5,511,950	3,626,703	3,640,724	3,638,191	4,280,133
未払収益分配金	3,381,645	3,366,501	3,337,685	3,340,018	3,349,793	3,332,461
未払解約金	468,100	1,872,800	-	13,174	-	667,500
未払信託報酬	304,798	269,182	283,836	280,643	279,832	269,968
その他未払費用	1,841	3,467	5,182	6,889	8,566	10,204
(C) 純資産総額(A-B)	260,031,008	261,113,672	262,571,748	246,994,457	243,769,608	244,751,139
元本	563,607,520	561,083,617	556,280,975	556,669,708	558,298,906	555,410,303
次期繰越損益金	△303,576,512	△299,969,945	△293,709,227	△309,675,251	△314,529,298	△310,659,164
(D) 受益権総口数	563,607,520□	561,083,617□	556,280,975□	556,669,708□	558,298,906□	555,410,303□
1万口当り基準価額(C/D)	4,614円	4,654円	4,720円	4,437円	4,366円	4,407円

*第71期末における元本額は595,676,398円、当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は25,838,932円、同解約元本額は66,105,027円です。

*第77期末の計算口数当りの純資産額は4,407円です。

*第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は310,659,164円です。

■損益の状況

第72期 自2019年1月18日 至2019年2月18日 第75期 自2019年4月18日 至2019年5月17日
 第73期 自2019年2月19日 至2019年3月18日 第76期 自2019年5月18日 至2019年6月17日
 第74期 自2019年3月19日 至2019年4月17日 第77期 自2019年6月18日 至2019年7月17日

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(A) 配当等収益	2,925,272円	3,023,099円	3,025,104円	2,980,171円	2,845,601円	2,828,354円
受取配当金	2,925,555	3,023,328	3,025,291	2,980,428	2,845,833	2,828,613
受取利息	—	—	1	—	—	—
支払利息	△ 283	△ 229	△ 188	△ 257	△ 232	△ 259
(B) 有価証券売買損益	3,708,450	2,860,413	4,291,140	△ 15,117,595	△ 3,162,074	3,018,048
売買益	3,814,146	2,867,805	4,281,251	4,006	1	3,043,419
売買損	△ 105,696	△ 7,392	9,889	△ 15,121,601	△ 3,162,075	△ 25,371
(C) 信託報酬等	△ 306,644	△ 270,809	△ 285,551	△ 282,362	△ 281,520	△ 271,606
(D) 当期損益(A+B+C)	6,327,078	5,612,703	7,030,693	△ 12,419,786	△ 597,993	5,574,796
(E) 前期繰越損益金	△172,421,151	△167,680,472	△163,085,618	△158,662,606	△173,780,200	△175,520,182
(F) 追加信託差損益金	△134,100,794	△134,535,675	△134,316,617	△135,252,841	△136,801,312	△137,381,317
(配当等相当額)	(32,454,898)	(31,720,843)	(30,971,085)	(30,561,943)	(30,007,884)	(29,070,987)
(売買損益相当額)	(△166,555,692)	(△166,256,518)	(△165,287,702)	(△165,814,784)	(△166,809,196)	(△166,452,304)
(G) 合計(D + E + F)	△300,194,867	△296,603,444	△290,371,542	△306,335,233	△311,179,505	△307,326,703
(H) 収益分配金	△ 3,381,645	△ 3,366,501	△ 3,337,685	△ 3,340,018	△ 3,349,793	△ 3,332,461
次期繰越損益金(G+H)	△303,576,512	△299,969,945	△293,709,227	△309,675,251	△314,529,298	△310,659,164
追加信託差損益金	△134,692,400	△135,018,219	△134,747,274	△135,895,051	△137,587,026	△138,016,828
(配当等相当額)	(31,863,292)	(31,238,299)	(30,540,428)	(29,919,733)	(29,222,170)	(28,435,476)
(売買損益相当額)	(△166,555,692)	(△166,256,518)	(△165,287,702)	(△165,814,784)	(△166,809,196)	(△166,452,304)
繰越損益金	△168,884,112	△164,951,726	△158,961,953	△173,780,200	△176,942,272	△172,642,336

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,790,039円	2,883,957円	2,907,028円	2,697,808円	2,564,079円	2,696,950円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	32,454,898	31,720,843	30,971,085	30,561,943	30,007,884	29,070,987
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	35,244,937	34,604,800	33,878,113	33,259,751	32,571,963	31,767,937
(f) 分配金	3,381,645	3,366,501	3,337,685	3,340,018	3,349,793	3,332,461
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	31,863,292	31,238,299	30,540,428	29,919,733	29,222,170	28,435,476
(h) 受益権総口数	563,607,520口	561,083,617口	556,280,975口	556,669,708口	558,298,906口	555,410,303口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
1 万 口 当 り 分 配 金	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
48期末(2017年2月17日)	8,530	90	1.1	11,342	3.6	87.26	2.4	0.0	98.5	465
49期末(2017年3月17日)	8,514	90	0.9	11,262	△0.7	87.10	△0.2	0.0	100.8	489
50期末(2017年4月17日)	8,368	90	△0.7	10,820	△3.9	82.20	△5.6	0.0	98.4	487
51期末(2017年5月17日)	8,418	90	1.7	10,923	0.9	83.54	1.6	0.0	96.2	475
52期末(2017年6月19日)	8,324	90	△0.0	10,917	△0.1	84.60	1.3	0.0	99.1	490
53期末(2017年7月18日)	8,265	90	0.4	11,261	3.2	87.55	3.5	—	98.3	581
54期末(2017年8月17日)	8,283	90	1.3	11,278	0.1	87.23	△0.4	—	96.5	597
55期末(2017年9月19日)	8,163	90	△0.4	11,368	0.8	88.92	1.9	—	95.2	626
56期末(2017年10月17日)	8,211	90	1.7	11,501	1.2	88.02	△1.0	—	98.3	652
57期末(2017年11月17日)	8,158	90	0.5	11,389	△1.0	85.74	△2.6	—	101.1	637
58期末(2017年12月18日)	8,203	90	1.7	11,549	1.4	86.17	0.5	—	98.4	647
59期末(2018年1月17日)	7,989	90	△1.5	11,924	3.2	88.21	2.4	—	98.1	649
60期末(2018年2月19日)	7,356	90	△6.8	11,118	△6.8	84.26	△4.5	—	98.3	595
61期末(2018年3月19日)	7,257	90	△0.1	10,873	△2.2	81.78	△2.9	—	95.5	614
62期末(2018年4月17日)	7,021	90	△2.0	10,881	0.1	83.35	1.9	—	97.5	606
63期末(2018年5月17日)	7,101	90	2.4	11,325	4.1	82.98	△0.4	—	96.9	658
64期末(2018年6月18日)	7,032	90	0.3	11,196	△1.1	82.21	△0.9	—	97.1	657
65期末(2018年7月17日)	7,116	90	2.5	11,626	3.8	83.35	1.4	—	96.0	754
66期末(2018年8月17日)	7,018	90	△0.1	11,386	△2.1	80.51	△3.4	—	98.5	795
67期末(2018年9月18日)	6,766	90	△2.3	11,072	△2.8	80.10	△0.5	—	97.8	799
68期末(2018年10月17日)	6,325	90	△5.2	10,530	△4.9	80.27	0.2	—	98.4	758
69期末(2018年11月19日)	6,248	90	0.2	10,566	0.3	82.50	2.8	—	97.4	776
70期末(2018年12月17日)	6,013	90	△2.3	10,186	△3.6	81.36	△1.4	—	98.6	835
71期末(2019年1月17日)	5,915	90	△0.1	10,186	0.0	78.11	△4.0	—	98.6	814
72期末(2019年2月18日)	6,033	90	3.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	99.1	857
73期末(2019年3月18日)	6,196	90	4.2	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.1	960
74期末(2019年4月17日)	6,230	90	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	991
75期末(2019年5月17日)	5,999	90	△2.3	10,714	△4.9	75.76	△5.7	—	98.4	943
76期末(2019年6月17日)	6,044	90	2.3	10,946	2.2	74.73	△1.4	—	98.4	904
77期末(2019年7月17日)	6,071	90	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.3	987

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

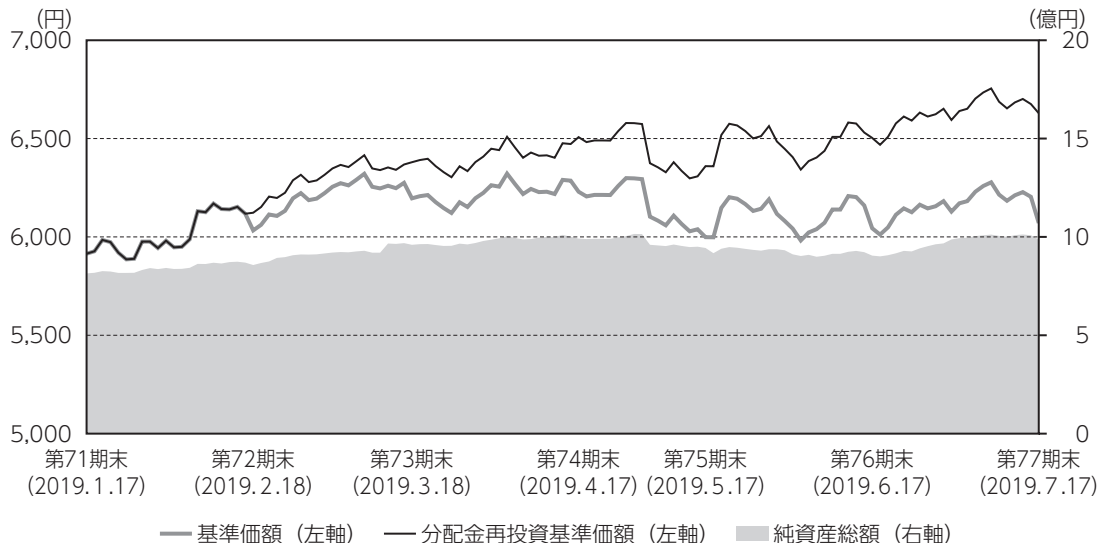
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第72期首：5,915円

第77期末：6,071円（既払分配金540円）

騰落率：12.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことがプラスに働き、上昇しました。通貨オプション取引については、プラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第72期	(期首)2019年1月17日	円 5,915	% -	10,186	% -	円 78.11	% -	% -	% 98.6
	1月末	5,981	1.1	10,388	2.0	78.96	1.1	-	97.1
	(期末)2019年2月18日	6,123	3.5	10,714	5.2	79.03	1.2	-	99.1
第73期	(期首)2019年2月18日	6,033	-	10,714	-	79.03	-	-	99.1
	2月末	6,195	2.7	10,905	1.8	79.34	0.4	-	98.0
	(期末)2019年3月18日	6,286	4.2	10,913	1.9	79.08	0.1	-	98.1
第74期	(期首)2019年3月18日	6,196	-	10,913	-	79.08	-	-	98.1
	3月末	6,197	0.0	10,854	△0.5	78.64	△0.6	-	97.3
	(期末)2019年4月17日	6,320	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	-	98.4
第75期	(期首)2019年4月17日	6,230	-	11,269	-	80.33	-	-	98.4
	4月末	6,298	1.1	11,184	△0.8	78.41	△2.4	-	97.3
	(期末)2019年5月17日	6,089	△2.3	10,714	△4.9	75.76	△5.7	-	98.4
第76期	(期首)2019年5月17日	5,999	-	10,714	-	75.76	-	-	98.4
	5月末	6,081	1.4	10,788	0.7	75.52	△0.3	-	97.5
	(期末)2019年6月17日	6,134	2.3	10,946	2.2	74.73	△1.4	-	98.4
第77期	(期首)2019年6月17日	6,044	-	10,946	-	74.73	-	-	98.4
	6月末	6,182	2.3	11,246	2.7	75.49	1.0	-	94.2
	(期末)2019年7月17日	6,161	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	-	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.1.18~2019.7.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首より方向感のない動きで始まりましたが、2019年2月に入り、オーストラリア国内での金融機関の規制に対する独立調査委員会の報告が無難な結果に終わったことから安心感が広がり、上昇しました。4月以降も、中国や米国などで製造業関連のマクロ経済指標が市場予想を上回ったことなどを背景に、上昇を続けました。5月前半に、米中貿易摩擦再燃への警戒感が強まり株式市場が軟調に推移する局面もありましたが、5月後半には、オーストラリア総選挙において与党が勝利したほか、6月にはRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き下げを実施したことなどから、上げ幅を広げました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月中旬にかけては、株式市場が堅調に推移するなど投資家のリスク選好が回復し、おおむね円安豪ドル高基調で推移しました。4月下旬から6月上旬にかけては、米中間の政治的緊張の高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、RBA（オーストラリア準備銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから、円高豪ドル安が進みました。当作成期末にかけては、米中通商協議進展への期待感などから投資家のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは対円で値を戻す展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.1.18~2019.7.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

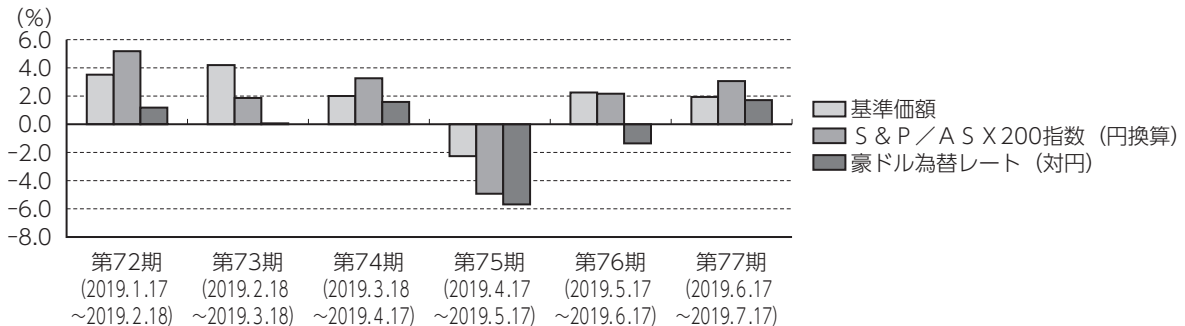
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2019年1月18日 ～2019年2月18日	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月17日	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日	2019年6月18日 ～2019年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（%）	1.47	1.43	1.42	1.48	1.47	1.46
当期の収益（円）	65	65	66	66	66	66
当期の収益以外（円）	24	24	23	23	23	23
翌期繰越分配対象額（円）	1,142	1,122	1,099	1,075	1,052	1,029

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 65.44円	✓ 65.82円	✓ 66.43円	✓ 66.33円	✓ 66.43円	✓ 66.06円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,167.54	✓ 1,146.37	✓ 1,123.11	✓ 1,099.56	✓ 1,076.25	✓ 1,053.30
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,232.98	1,212.19	1,189.55	1,165.90	1,142.68	1,119.36
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,142.98	1,122.19	1,099.55	1,075.90	1,052.68	1,029.36

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2019.1.18～2019.7.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.656%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,148円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.213)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.427)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.660	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

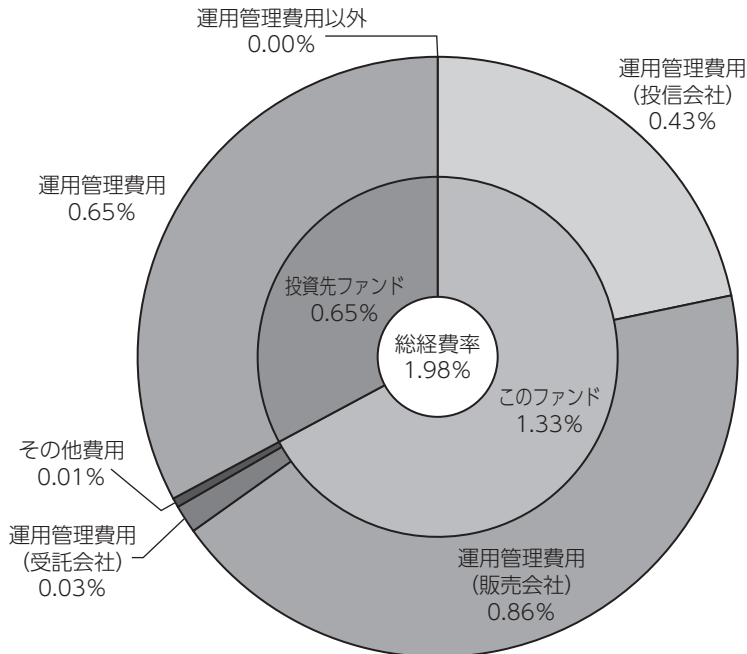
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率 (①+②+③)	1.98%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

決算期	第 72 期 ~ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	3,757.97567	229,911	1,739.83567	104,683

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

第 72 期				~	第 77 期			
買 付				売 付				
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	2,685.37868	165,000	61	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	1,739.83567	104,683	60	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

区 分	第 72 期			第 77 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	8,322,217	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	119,999	-	-	119,999	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千口 15,840.95077	千円 971,002	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年7月17日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 971,002	% 96.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	32,221	3.2
投資信託財産総額	1,003,323	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 77 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年2月18日)、(2019年3月18日)、(2019年4月17日)、(2019年5月17日)、(2019年6月17日)、(2019年7月17日)現在

項 目	第 72 期 末	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末	第 77 期 末
(A) 資産	870,974,747円	1,000,112,231円	1,028,044,609円	959,245,791円	919,507,254円	1,003,323,746円
コール・ローン等	21,441,500	57,596,125	27,754,061	29,830,531	28,877,692	32,221,056
投資信託受益証券(評価額)	849,433,287	942,416,155	976,262,888	929,315,319	890,529,621	971,002,759
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,960	99,951	99,951	99,941	99,941	99,931
未収入金	—	—	23,927,709	—	—	—
(B) 負債	13,774,640	39,896,303	36,390,317	15,265,233	14,548,702	15,738,128
未払金	—	25,000,000	11,963,855	—	—	—
未払収益分配金	12,787,000	13,948,069	14,325,985	14,162,132	13,475,180	14,640,853
未払解約金	—	—	9,015,335	—	—	—
未払信託報酬	981,664	936,567	1,066,946	1,078,316	1,042,462	1,059,722
その他未払費用	5,976	11,667	18,196	24,785	31,060	37,553
(C) 純資産総額(A-B)	857,200,107	960,215,928	991,654,292	943,980,558	904,958,552	987,585,618
元本	1,420,777,856	1,549,785,486	1,591,776,146	1,573,570,237	1,497,242,261	1,626,761,509
次期繰越損益金	△ 563,577,749	△ 589,569,558	△ 600,121,854	△ 629,589,679	△ 592,283,709	△ 639,175,891
(D) 受益権総口数	1,420,777,856□	1,549,785,486□	1,591,776,146□	1,573,570,237□	1,497,242,261□	1,626,761,509□
1万口当り基準価額(C/D)	6,033円	6,196円	6,230円	5,999円	6,044円	6,071円

*第71期末における元本額は1,377,458,404円、当作成期間(第72期~第77期)中における追加設定元本額は453,874,373円、同解約元本額は204,571,268円です。

*第77期末の計算口数当りの純資産額は6,071円です。

*第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は639,175,891円です。

■損益の状況

第72期 自2019年1月18日 至2019年2月18日 第75期 自2019年4月18日 至2019年5月17日
 第73期 自2019年2月19日 至2019年3月18日 第76期 自2019年5月18日 至2019年6月17日
 第74期 自2019年3月19日 至2019年4月17日 第77期 自2019年6月18日 至2019年7月17日

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(A) 配当等収益	9,611,656円	10,460,741円	11,154,108円	11,522,859円	10,480,584円	11,414,944円
受取配当金	9,612,773	10,461,703	11,155,561	11,524,096	10,481,607	11,416,947
受取利息	-	-	-	24	17	7
支払利息	△ 1,117	△ 962	△ 1,453	△ 1,261	△ 1,040	△ 2,010
(B) 有価証券売買損益	20,618,439	27,478,106	9,546,960	△ 32,721,857	10,088,282	6,818,218
売買益	20,618,449	27,509,593	9,555,930	21	10,727,128	7,034,885
売買損	△ 10	△ 31,487	△ 8,970	△ 32,721,878	△ 638,846	△ 216,667
(C) 信託報酬等	△ 987,681	△ 942,270	△ 1,073,475	△ 1,084,990	△ 1,048,803	△ 1,066,215
(D) 当期損益(A+B+C)	29,242,414	36,996,577	19,627,593	△ 22,283,988	19,520,063	17,166,947
(E) 前期繰越損益金	△284,096,910	△263,843,267	△234,419,241	△219,952,461	△234,125,281	△220,211,128
(F) 追加信託差損益金	△295,936,253	△348,774,799	△371,004,221	△373,191,098	△364,203,311	△421,490,857
(配当等相当額)	(165,882,672)	(177,663,081)	(178,774,416)	(173,024,969)	(161,140,700)	(171,347,140)
(売買損益相当額)	(△461,818,925)	(△526,437,880)	(△549,778,637)	(△546,216,067)	(△525,344,011)	(△592,837,997)
(G) 合計(D + E + F)	△550,790,749	△575,621,489	△585,795,869	△615,427,547	△578,808,529	△624,535,038
(H) 収益分配金	△ 12,787,000	△ 13,948,069	△ 14,325,985	△ 14,162,132	△ 13,475,180	△ 14,640,853
次期繰越損益金(G+H)	△563,577,749	△589,569,558	△600,121,854	△629,589,679	△592,283,709	△639,175,891
追加信託差損益金	△299,425,585	△352,521,912	△374,754,488	△376,915,362	△367,732,273	△425,384,325
(配当等相当額)	(162,393,340)	(173,915,968)	(175,024,149)	(169,300,705)	(157,611,738)	(167,453,672)
(売買損益相当額)	(△461,818,925)	(△526,437,880)	(△549,778,637)	(△546,216,067)	(△525,344,011)	(△592,837,997)
繰越損益金	△264,152,164	△237,047,646	△225,367,366	△252,674,317	△224,551,436	△213,791,566

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,297,668円	10,200,956円	10,575,718円	10,437,868円	9,946,218円	10,747,385円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	165,882,672	177,663,081	178,774,416	173,024,969	161,140,700	171,347,140
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	175,180,340	187,864,037	189,350,134	183,462,837	171,086,918	182,094,525
(f) 分配金	12,787,000	13,948,069	14,325,985	14,162,132	13,475,180	14,640,853
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	162,393,340	173,915,968	175,024,149	169,300,705	157,611,738	167,453,672
(h) 受益権総口数	1,420,777,856□	1,549,785,486□	1,591,776,146□	1,573,570,237□	1,497,242,261□	1,626,761,509□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
1 万 口 当 り 分 配 金	90円	90円	90円	90円	90円	90円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

株式&通貨ツインαコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
48期末(2017年2月17日)	4,815	70	2.2	11,342	3.6	87.26	2.4	0.0	98.7	21,128
49期末(2017年3月17日)	4,792	70	1.0	11,262	△0.7	87.10	△0.2	0.0	98.5	20,580
50期末(2017年4月17日)	4,643	70	△1.6	10,820	△3.9	82.20	△5.6	0.0	98.4	19,875
51期末(2017年5月17日)	4,652	70	1.7	10,923	0.9	83.54	1.6	0.0	98.6	19,545
52期末(2017年6月19日)	4,575	70	△0.2	10,917	△0.1	84.60	1.3	0.0	98.7	18,939
53期末(2017年7月18日)	4,538	70	0.7	11,261	3.2	87.55	3.5	-	98.7	18,413
54期末(2017年8月17日)	4,515	70	1.0	11,278	0.1	87.23	△0.4	-	98.5	18,119
55期末(2017年9月19日)	4,478	70	0.7	11,368	0.8	88.92	1.9	-	99.2	17,609
56期末(2017年10月17日)	4,478	70	1.6	11,501	1.2	88.02	△1.0	-	98.4	17,403
57期末(2017年11月17日)	4,407	70	△0.0	11,389	△1.0	85.74	△2.6	-	98.3	16,773
58期末(2017年12月18日)	4,389	70	1.2	11,549	1.4	86.17	0.5	-	98.5	16,426
59期末(2018年1月17日)	4,285	70	△0.8	11,924	3.2	88.21	2.4	-	98.3	16,018
60期末(2018年2月19日)	3,957	70	△6.0	11,118	△6.8	84.26	△4.5	-	98.5	14,650
61期末(2018年3月19日)	3,886	70	△0.0	10,873	△2.2	81.78	△2.9	-	98.6	14,198
62期末(2018年4月17日)	3,764	70	△1.3	10,881	0.1	83.35	1.9	-	99.3	13,665
63期末(2018年5月17日)	3,751	70	1.5	11,325	4.1	82.98	△0.4	-	98.5	13,375
64期末(2018年6月18日)	3,678	70	△0.1	11,196	△1.1	82.21	△0.9	-	98.7	13,222
65期末(2018年7月17日)	3,671	70	1.7	11,626	3.8	83.35	1.4	-	98.5	13,217
66期末(2018年8月17日)	3,583	70	△0.5	11,386	△2.1	80.51	△3.4	-	98.8	12,845
67期末(2018年9月18日)	3,469	70	△1.2	11,072	△2.8	80.10	△0.5	-	99.9	12,332
68期末(2018年10月17日)	3,290	45	△3.9	10,530	△4.9	80.27	0.2	-	98.2	11,865
69期末(2018年11月19日)	3,254	45	0.3	10,566	0.3	82.50	2.8	-	98.2	11,494
70期末(2018年12月17日)	3,149	45	△1.8	10,186	△3.6	81.36	△1.4	-	97.9	11,088
71期末(2019年1月17日)	3,075	45	△0.9	10,186	0.0	78.11	△4.0	-	98.6	10,799
72期末(2019年2月18日)	3,108	45	2.5	10,714	5.2	79.03	1.2	-	98.2	10,866
73期末(2019年3月18日)	3,142	45	2.5	10,913	1.9	79.08	0.1	-	98.9	10,602
74期末(2019年4月17日)	3,161	45	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	-	98.4	10,560
75期末(2019年5月17日)	3,047	45	△2.2	10,714	△4.9	75.76	△5.7	-	98.4	10,104
76期末(2019年6月17日)	3,014	45	0.4	10,946	2.2	74.73	△1.4	-	98.6	9,942
77期末(2019年7月17日)	3,026	45	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	-	98.4	9,964

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

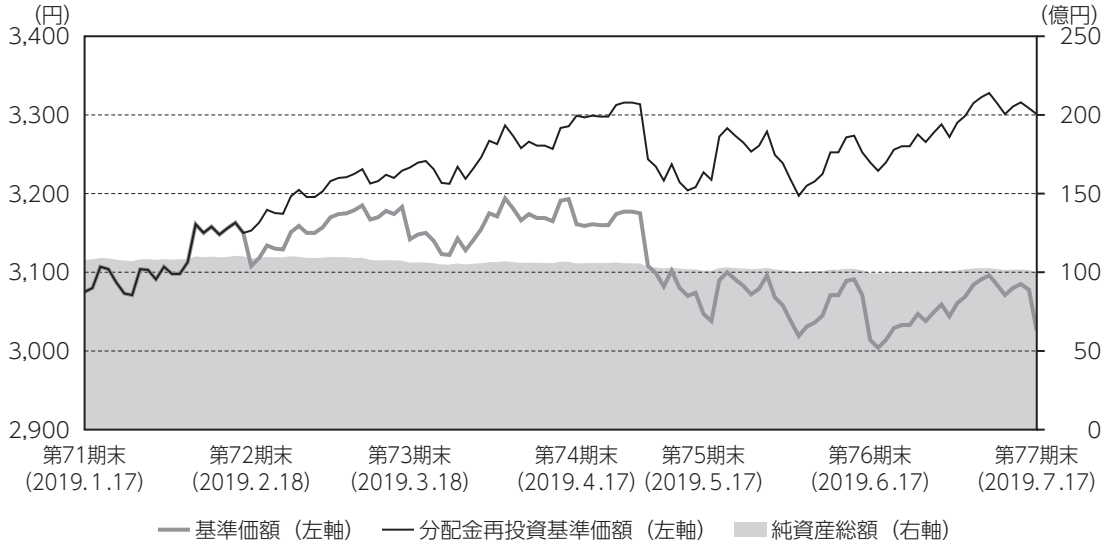
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第72期首：3,075円

第77期末：3,026円（既払分配金270円）

騰落率：7.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、豪ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことがプラスに働き、上昇しました。オプション取引については、株式オプション取引についてはマイナス要因となり、通貨オプション取引についてはプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式&通貨ツインαコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第72期	(期首)2019年1月17日	円 3,075	% -	10,186	% -	円 78.11	% -	% -	% 98.6
	1月末	3,107	1.0	10,388	2.0	78.96	1.1	-	99.3
	(期末)2019年2月18日	3,153	2.5	10,714	5.2	79.03	1.2	-	98.2
第73期	(期首)2019年2月18日	3,108	-	10,714	-	79.03	-	-	98.2
	2月末	3,150	1.4	10,905	1.8	79.34	0.4	-	99.2
	(期末)2019年3月18日	3,187	2.5	10,913	1.9	79.08	0.1	-	98.9
第74期	(期首)2019年3月18日	3,142	-	10,913	-	79.08	-	-	98.9
	3月末	3,141	△0.0	10,854	△0.5	78.64	△0.6	-	99.4
	(期末)2019年4月17日	3,206	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	-	98.4
第75期	(期首)2019年4月17日	3,161	-	11,269	-	80.33	-	-	98.4
	4月末	3,177	0.5	11,184	△0.8	78.41	△2.4	-	98.8
	(期末)2019年5月17日	3,092	△2.2	10,714	△4.9	75.76	△5.7	-	98.4
第76期	(期首)2019年5月17日	3,047	-	10,714	-	75.76	-	-	98.4
	5月末	3,058	0.4	10,788	0.7	75.52	△0.3	-	98.5
	(期末)2019年6月17日	3,059	0.4	10,946	2.2	74.73	△1.4	-	98.6
第77期	(期首)2019年6月17日	3,014	-	10,946	-	74.73	-	-	98.6
	6月末	3,059	1.5	11,246	2.7	75.49	1.0	-	98.3
	(期末)2019年7月17日	3,071	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	-	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.1.18~2019.7.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首より方向感のない動きで始まりましたが、2019年2月に入り、オーストラリア国内での金融機関の規制に対する独立調査委員会の報告が無難な結果に終わったことから安心感が広がり、上昇しました。4月以降も、中国や米国などで製造業関連のマクロ経済指標が市場予想を上回ったことなどを背景に、上昇を続けました。5月前半に、米中貿易摩擦再燃への警戒感が強まり株式市場が軟調に推移する局面もありましたが、5月後半には、オーストラリア総選挙において与党が勝利したほか、6月にはRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き下げを実施したことなどから、上げ幅を広げました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月中旬にかけては、株式市場が堅調に推移するなど投資家のリスク選好が回復し、おおむね円安豪ドル高基調で推移しました。4月下旬から6月上旬にかけては、米中間の政治的緊張の高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、RBA（オーストラリア準備銀行）が金融緩和姿勢を強めたことから、円高豪ドル安が進みました。当作成期末にかけては、米中通商協議進展への期待感などから投資家のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは対円で値を戻す展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.1.18~2019.7.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

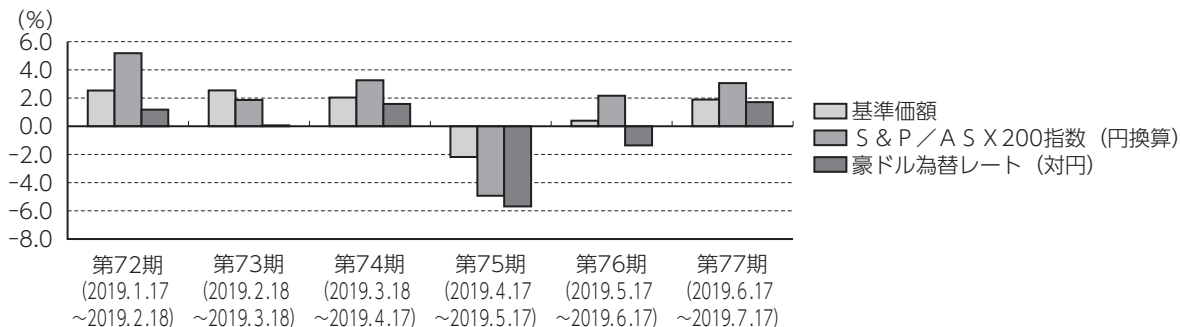
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2019年1月18日 ～2019年2月18日	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月17日	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日	2019年6月18日 ～2019年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	45	45	45	45	45	45
対基準価額比率（%）	1.43	1.41	1.40	1.46	1.47	1.47
当期の収益（円）	45	45	45	45	45	45
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	85	93	100	107	111	115

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 50.85円	✓ 52.81円	✓ 52.47円	✓ 51.37円	✓ 49.19円	✓ 49.53円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	51.01	51.22	51.51	51.91	52.15	53.26
(d) 分配準備積立金	28.42	34.08	41.67	48.87	55.04	58.13
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	130.29	138.13	145.66	152.16	156.39	160.93
(f) 分配金	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	85.29	93.13	100.66	107.16	111.39	115.93

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期 (2019.1.18～2019.7.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.655%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,113円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.213)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.427)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	21	0.659	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

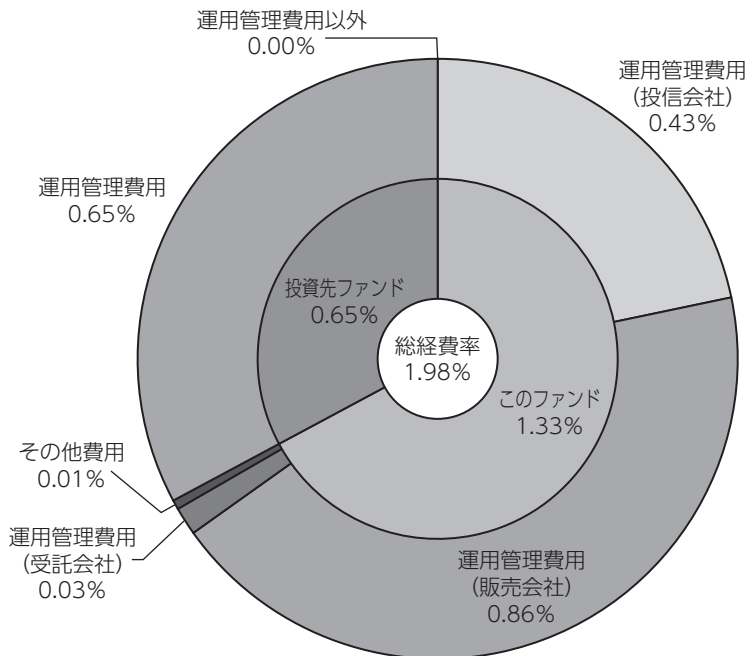
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率 (①+②+③)	1.98%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

決算期	第 72 期 ~ 第 77 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	33,065,74146	1,095,262	49,955,84652	1,664,973

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

第 72 期				~	第 77 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	49,955,84652	1,664,973	33	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

区 分	第 72 期			第 77 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	8,322,217	-	-	-	-	-
現先取引 (その他有価証券)	119,999	-	-	119,999	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 77 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千口 301,837,8303	千円 9,809,427	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年7月17日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,809,427	% 96.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	999	0.0
コール・ローン等、その他	338,234	3.3
投資信託財産総額	10,148,661	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 77 期 末		
	□ 数	評 価 額	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 982	千円 982	千円 999

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年2月18日)、(2019年3月18日)、(2019年4月17日)、(2019年5月17日)、(2019年6月17日)、(2019年7月17日)現在

項 目	第 72 期 末	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末	第 77 期 末
(A) 資産	11,092,592,425円	10,819,445,995円	10,732,045,867円	10,297,946,302円	10,129,511,445円	10,148,661,295円
コール・ローン等	415,915,659	336,518,825	343,438,183	349,290,441	328,506,381	338,234,337
投資信託受益証券(評価額)	10,675,677,159	10,481,927,661	10,387,608,175	9,947,656,451	9,800,005,654	9,809,427,646
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	999,607	999,509	999,509	999,410	999,410	999,312
(B) 負債	225,930,550	216,735,386	171,355,824	193,129,129	186,993,019	184,407,872
未払収益分配金	157,321,392	151,829,057	150,327,653	149,255,125	148,461,414	148,202,377
未払解約金	55,864,664	53,657,100	9,273,842	32,176,895	26,746,025	24,772,992
未払信託報酬	12,667,230	11,104,312	11,538,977	11,411,764	11,431,052	11,010,367
その他未払費用	77,264	144,917	215,352	285,345	354,528	422,136
(C) 純資産総額(A-B)	10,866,661,875	10,602,710,609	10,560,690,043	10,104,817,173	9,942,518,426	9,964,253,423
元本	34,960,309,539	33,739,790,628	33,406,145,151	33,167,805,560	32,991,425,424	32,933,861,762
次期繰越損益金	△24,093,647,664	△23,137,080,019	△22,845,455,108	△23,062,988,387	△23,048,906,998	△22,969,608,339
(D) 受益権総口数	34,960,309,539□	33,739,790,628□	33,406,145,151□	33,167,805,560□	32,991,425,424□	32,933,861,762□
1万口当り基準価額(C/D)	3,108円	3,142円	3,161円	3,047円	3,014円	3,026円

* 第71期末における元本額は35,119,071,444円、当作成期間(第72期~第77期)中における追加設定元本額は2,001,959,197円、同解約元本額は4,187,168,879円です。

* 第77期末の計算口数当りの純資産額は3,026円です。

* 第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,969,608,339円です。

■損益の状況

第72期 自2019年1月18日 至2019年2月18日 第75期 自2019年4月18日 至2019年5月17日
 第73期 自2019年2月19日 至2019年3月18日 第76期 自2019年5月18日 至2019年6月17日
 第74期 自2019年3月19日 至2019年4月17日 第77期 自2019年6月18日 至2019年7月17日

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(A) 配当等収益	186,185,595円	185,661,926円	184,858,955円	181,886,854円	173,785,855円	172,889,594円
受取配当金	186,194,580	185,669,486	184,864,580	181,897,525	173,795,799	172,901,659
受取利息	52	59	25	24	11	29
支払利息	△ 9,037	△ 7,619	△ 5,650	△ 10,695	△ 9,955	△ 12,094
(B) 有価証券売買損益	96,095,595	92,514,895	39,618,251	△ 401,002,261	△ 122,401,782	23,479,035
売買益	96,934,546	94,795,244	40,859,332	2,317,372	688,860	24,432,773
売買損	△ 838,951	△ 2,280,349	△ 1,241,081	△ 403,319,633	△ 123,090,642	△ 953,738
(C) 信託報酬等	△ 12,744,764	△ 11,172,007	△ 11,609,412	△ 11,482,429	△ 11,500,741	△ 11,077,975
(D) 当期損益金(A+B+C)	269,536,426	267,004,814	212,867,794	△ 230,597,836	39,883,332	185,290,654
(E) 前期繰越損益金	△14,539,881,146	△13,847,161,780	△13,520,011,932	△13,288,062,250	△13,543,312,906	△13,375,197,821
(F) 追加信託差損益金	△ 9,665,981,552	△ 9,405,093,996	△ 9,387,983,317	△ 9,395,073,176	△ 9,397,016,010	△ 9,631,498,795
(配当等相当額)	(178,364,162)	(172,840,706)	(172,089,333)	(172,193,470)	(172,081,443)	(175,433,967)
(売買損益相当額)	(△ 9,844,345,714)	(△ 9,577,934,702)	(△ 9,560,072,650)	(△ 9,567,266,646)	(△ 9,569,097,453)	(△ 9,806,932,762)
(G) 合計(D+E+F)	△23,936,326,272	△22,985,250,962	△22,695,127,455	△22,913,733,262	△22,900,445,584	△22,821,405,962
(H) 収益分配金	△ 157,321,392	△ 151,829,057	△ 150,327,653	△ 149,255,125	△ 148,461,414	△ 148,202,377
次期繰越損益金(G+H)	△24,093,647,664	△23,137,080,019	△22,845,455,108	△23,062,988,387	△23,048,906,998	△22,969,608,339
追加信託差損益金	△ 9,665,981,552	△ 9,405,093,996	△ 9,387,983,317	△ 9,395,073,176	△ 9,397,016,010	△ 9,631,498,795
(配当等相当額)	(178,364,162)	(172,840,706)	(172,089,333)	(172,193,470)	(172,081,443)	(175,433,967)
(売買損益相当額)	(△ 9,844,345,714)	(△ 9,577,934,702)	(△ 9,560,072,650)	(△ 9,567,266,646)	(△ 9,569,097,453)	(△ 9,806,932,762)
分配準備積立金	119,833,882	141,388,941	164,177,286	183,259,789	195,412,767	206,386,301
繰越損益金	△14,547,499,994	△13,873,374,964	△13,621,649,077	△13,851,175,000	△13,847,303,755	△13,544,495,845

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	177,779,086円	178,205,693円	175,298,550円	170,404,374円	162,285,065円	163,136,488円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	178,364,162	172,840,706	172,089,333	172,193,470	172,081,443	175,433,967
(d) 分配準備積立金	99,376,188	115,012,305	139,206,389	162,110,540	181,589,116	191,452,190
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	455,519,436	466,058,704	486,594,272	504,708,384	515,955,624	530,022,645
(f) 分配金	157,321,392	151,829,057	150,327,653	149,255,125	148,461,414	148,202,377
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	298,198,044	314,229,647	336,266,619	355,453,259	367,494,210	381,820,268
(h) 受益権総口数	34,960,309,539口	33,739,790,628口	33,406,145,151口	33,167,805,560口	32,991,425,424口	32,933,861,762口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
1 万 口 当 り 分 配 金	45円	45円	45円	45円	45円	45円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年7月17日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表

2018年12月31日

		(円)
資産		
担保付スワップ投資（評価額）（簿価：23,055,922,301円）		11,548,799,882
未収利息		7,107,745
資産計		<u><u>11,555,907,627</u></u>
負債		
未払代理人手数料		7,107,745
負債計		<u><u>7,107,745</u></u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		<u><u>11,548,799,882</u></u>
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	10,483,716,043
	通貨αクラス受益証券	798,899,364
	株式αクラス受益証券	<u><u>266,184,475</u></u>
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	316,599,465
	通貨αクラス受益証券	14,004,289
	株式αクラス受益証券	<u><u>5,629,345</u></u>
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	33,113
	通貨αクラス受益証券	57,046
	株式αクラス受益証券	<u><u>47,285</u></u>

包括利益計算書

2018年12月31日終了年度

(円)

収入	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	3,058,038,761
担保付スワップ投資純損失	(5,192,478,134)
投資純利益	(2,134,439,373)
収入計	(2,134,439,373)
営業費用	93,575,221
営業費用計	93,575,221
金融費用控除前営業損益	(2,228,014,594)
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,964,463,540)
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）	(5,192,478,134)

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2018年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	21,501,040,768	10,483,716,043
通貨αクラス受益証券	1,106,342,123	798,899,364
株式αクラス受益証券	448,539,410	266,184,475
	23,055,922,301	11,548,799,882

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツイ
ンαコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファ
ンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第77期の決算日（2019年7月17日）現在におけるダイワ・マ
ネー・マザーファンドの組入資産の内容等を42ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2019年1月18日から2019年7月17日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
801 国庫短期証券	2019/3/18		千円 350,004				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（66,757,288千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年7月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,998	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

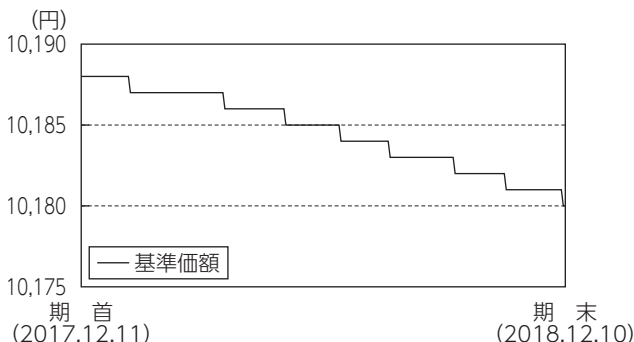
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年 1 月末	10,187	△0.0	-
2 月末	10,187	△0.0	0.5
3 月末	10,186	△0.0	-
4 月末	10,186	△0.0	-
5 月末	10,185	△0.0	-
6 月末	10,184	△0.0	-
7 月末	10,184	△0.0	-
8 月末	10,183	△0.0	-
9 月末	10,182	△0.1	-
10 月末	10,181	△0.1	-
11 月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ()

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期		期 末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>		

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0		
投資信託財産総額	80,270,040	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	期 末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円	

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/R I C I*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの一步- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンダラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、フルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、DCスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。